

平成29年度
越谷市市政モニターから寄せられた意見

目次

大綱1 市民とつくる住みよい自治のまちづくり	1
○テレビ広報番組いきいき越谷について	1
○市役所1階のキャンベルタウンコーナーについて	1
○公共施設等のあり方について	2
大綱2 だれもが健康で生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり	3
○民生委員について	3
○生活保護受給世帯等の公表について	3
○ヘルプマークの配布について	4
大綱3 自然と調和し質の高い都市機能を備えたまちづくり	4
○越谷駅東口のバス停について	4
○元荒川の清掃推進について	5
大綱4 人や環境にやさしく安全・安心な生活を育むまちづくり	5
○帰宅を促す定時放送について	5
大綱5 安心して働ける環境を育む持続的で躍動するまちづくり	6
○ガーヤちゃんの蔵屋敷について	6
大綱6 いきいきとだれもが学べる心豊かなまちづくり	6
○宮本小学校体育館への洋式トイレ設置について	6
○越谷健康マラソン祭りについて	7

大綱 1 市民とつくる住みよい自治のまちづくり

○テレビ広報番組いきいき越谷について

- ① いきいき越谷の各コーナーの差がわからない。
- ② 毎年、いきいき越谷の全体のイメージが変わっているが、業者が変わっているからなのか。

① いきいき越谷の各コーナーの違いについて

テレビ広報番組いきいき越谷では、「こしがやニュース」「特集」「まちかどズームアップ」「イベント情報」のコーナーを設け、本市の新たな事業や地域での取組みのほか、各種イベント情報などを映像や関係者へのインタビュー、リポーターによる現地取材を交えて紹介しております。

各コーナーの内容は次のとおりです。

・こしがやニュース

市の新たな取組みや、施設の完成、年末年始のお知らせ等、市からのお知らせのほか、新春市長インタビューなどを紹介するコーナーです。

・特集

市の施策や公共施設の紹介をはじめ、市の歴史や自然、文化などをリポーターによる現地ロケで紹介するコーナーです。

・まちかどズームアップ

市内各所で行われている市民の皆さんのいきいきとした活動を紹介するコーナーです。

・イベント情報

これから行われるイベントの情報を紹介するコーナーです。

② 毎年、いきいき越谷全体のイメージが変化していることについて

いきいき越谷の制作についてですが、制作を委託する業者は、毎年、入札により契約しております。番組のロゴやスタジオ装飾のデザインをはじめ、番組全体の演出方法は、契約後、広報広聴課と業者で会議を行い決めているため、年度ごとにイメージが変わるようになっております。

(平成29年11月17日：広報広聴課)

○市役所1階のキャンベルタウンコーナーについて

現在の市役所1階のキャンベルタウンコーナーは、積極的に国際交流しているという姿勢が感じられない。

越谷市が積極的にキャンベルタウンと国際交流を推進していることをアピールするために、キャンベルタウンコーナーを充実させてほしい。

越谷市は、昭和59年4月11日に、オーストラリアキャンベルタウン市とさまざまな交流をとおして両市民の相互理解と親交が深まることを願い、姉妹都市を提携し、今年で33

年目を迎えております。

両市の交流は、姉妹都市提携以来、青少年の相互交流を中心に行っており、事業につきましては、ボランティアの方々の協力を得ながら、越谷市国際交流協会が中心となり実施しております。

本庁舎1階のキャンベルタウンコーナーでは、キャンベルタウン市からの使節団が来市した際に本市に贈呈された記念品や姉妹都市提携をはじめとする調印書などを展示しているほか、越谷市中学生使節団派遣生自らが作成した写真パネルを掲示し、キャンベルタウン市との交流や、キャンベルタウン市訪問時の交流の様子を市民の皆様にご紹介しております。

キャンベルタウンコーナーにつきましては、いただいた提言を踏まえ、工夫検討してまいりたいと存じます。また、今後におきましても、キャンベルタウン市との姉妹都市交流が継続し、さらには充実が図れるよう、越谷市国際交流協会と連携するなど、市民の皆様と協働で取り組んでまいりたいと存じます。

このたびは貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

(平成29年8月23日：市民活動支援課)

○公共施設等のあり方について

広報紙にも載っていましたが、公共施設のあり方について幅広い世代の方から話を聞き、老朽化問題等に取り組んでほしいです。また、新しい施設を作ることが難しいのならば、学校の空き教室などを利用してみてはどうでしょうか。

レイクタウン南には公共施設がなく、不便だと思います。児童センター、地区センター、図書館を作ってほしいです。これから育つ子どもたちに、安心、安全な遊び場を作ってほしいです。

本市では、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、本市の最上位計画である第4次総合振興計画において、「安心を実感できる命と財産を守るプロジェクト」を重点戦略に掲げ、事業に取り組んでいるところです。

公共施設のあり方について、市では平成27年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定し、今後の人口の変化に対応するとともに、財政負担の軽減と、公共施設の更新等に必要となる費用の平準化を図る必要があるという課題を踏まえ、主要な対策として「①建物の総量の縮減」(施設の統廃合や複合化、建築規模の縮小などの方法により、保有する建築物を22%以上減らす)と、「②長寿命化」(計画的な修繕等の実施により、50~60年とされている建物の寿命を延ばし、80年を目標に施設を使用する)を位置づけ、取り組んでいくこととしております。したがって、今後、公共施設の新設には十分な検討を要するため、現時点での児童センター等の新設は難しい状況となっております。

一方、総合管理計画の認知度につきまして、平成27年度に行った「市民意向調査」では、74.5%の方々が「計画を知らない」という結果が出ており、計画の認知度も高めていく必要があると考えております。

これらのことを踏まえ、計画の周知と市民の皆様への公共施設等に対する考え方をお伺いすべく、平成29年3月1日と4日に、「公共施設の今後を考える懇談会」を開催いたしました。

懇談会では、ワークショップを通じ、次のようなご意見が寄せられたところです。

- ・ 小中学校区で高齢者施設や保育所、学童保育を複合化し、多世代が交流できるスペースを作ってはどうか。
- ・ 施設は近くにあるに越したことはないが、遠い場合には交通網の整備をしていただきたい。
- ・ アリーナやスポーツ施設については必ずしも近隣に無くても良い。これらの施設は現在でも指定管理者制度や民間施設が多くあるため、民間でも運営できると考えた。

今後、市民の皆様のご意見等をお聴きしながら、将来にわたって持続的に公共サービスが提供できるよう、対策に取り組むとともに、多くの皆様に愛され、安全で安心してお住まいいただけるようなまちづくりを進めてまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

(平成29年5月23日：政策課、公共施設マネジメント推進課)

大綱2 だれもが健康で生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり

○民生委員について

民生委員について、広報紙に載っていたが、1人暮らしをしている母親のところに民生委員は一度も来たことがない。その件について、市役所に聞いたところ「人手が足りない」と言われた。

このたびは、市政に対する貴重なご提言をいただきありがとうございます。

職員の説明が足りずに、ご提言いただいたような不快な印象を与えてしまったことについては、大変申し訳ございませんでした。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受け、地域の皆さまの身近な相談役となり、関係行政機関や福祉施設等につなぐ役割を担うボランティアです。

高齢独居世帯や、障がいのある方から日常生活に不安があるなどの理由で福祉推進課にご連絡をいただいた際は、その区域を担当する民生委員・児童委員を紹介するとともに、民生委員・児童委員に定期的な見回り等をお願いしております。民生委員・児童委員による見回りを希望される場合は、担当地区の委員に市役所からお願いしますので、福祉推進課までご連絡願います。

なお、民生委員・児童委員は、ボランティア職であり、相談者の家事の代行や近隣トラブルの調整等はできませんので、ご理解を賜りたいと存じます。

高齢化が進む中、今後も民生委員・児童委員に求められる役割は重要になることが予想されるため、本市といたしましても委員に対する研修等を充実させ、個々の識見向上に努めてまいります。このたびは貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

(平成29年10月18日：福祉推進課)

○生活保護受給世帯等の公表について

神戸市において、外国人の生活保護受給世帯数と受給金額が公表され、話題になってい

るが、越谷市の数字はどうなっているのか。世帯数、割合、金額とその推移を公表してほしい。

生活保護の被保護世帯人員等につきましては、市発行の統計年報等にて公表しておりますが、外国人に対する生活保護の準用を行っている世帯数等の公表は行っておりません。ご提言にあります神戸市の例につきましては、神戸市会議員の開示請求に応じたものであり、本市や神戸市を含め、他市区町村におきましても、外国人に対する生活保護の準用を行っている世帯数等の公表は行われておりません。

なお、全国的な統計につきましては、毎月国に対して被保護者調査として被保護世帯数等を報告しており、厚生労働省のホームページにて閲覧可能となっております。

(平成30年3月27日：生活福祉課)

○ヘルプマークの配布について

ヘルプマークを市役所で配布することはできないか。自分は以前からヘルプマークを利用しているが、東京都内でもらっている。常にバッグに下げているので傷みやすく、もらいに行くのは大変である。

現在、越谷市では、埼玉県が作成、配布しているハート・プラスマークの普及・啓発に努めているところです。しかしながら、ハート・プラスマークの主な対象者が内部障がいの方に限定されていることや、ヘルプマークがJIS（案内用図記号）の中に追加されたことなどから、埼玉県にヘルプマークの導入等について、現状を確認いたしました。

ヘルプマークについては、多くの自治体で導入が進んでいることや、精神障がいの方も対象に含まれるなど、ハート・プラスマークに比べても対象者が広いことなどから、埼玉県において、平成30年度中に作成、配布することを検討しているとのことでした。

埼玉県から各市町にヘルプマークが配布された際には、ハート・プラスマークと同様に、市ホームページや広報紙等でお知らせするとともに、配布させていただきたいと考えております。

(平成30年3月8日：障害福祉課)

大綱3 自然と調和し質の高い都市機能を備えたまちづくり

○越谷駅東口のバス停について

越谷駅東口発市立病院方面行きのバス停について、並び方に困惑することがある。バスの乗降場所に新越谷駅にあるような表示があると分かりやすいと思う。

このたびは、市政に対する貴重なご意見をいただきありがとうございますございました。

ご提言をいただきました越谷駅東口発市立病院方面行きのバス停に乗車待ち誘導ラインを設置することは、バスを待っている方への分かりやすい誘導や案内ができる方法のひとつであると考えます。

現在のところ、このバス停においては、一時的に乗車待ちの列が伸びている状況も見られますが、乗車待ちの誘導ラインを設置することで、視覚障がい者の方用に設置している

点字ブロックの誘導・案内に支障をきたすことが考えられます。そのため、バス事業者や関係各課と調整し、通行の妨げとならないよう、ポスターによる啓発を行ってまいります。

(平成30年1月19日：都市計画課)

○元荒川の清掃推進について

越谷市は自然に満ち溢れているが、川にはビニールなどのごみがある。市がボランティアを募り、清掃を推進してみてもどうか。

また、元荒川の梅林公園から上流にかけて、土手内に畑が散見される。先日の大雨で土手が水没し、ビニールや柵が流されてきているが、何か対策できないか。

日頃より市政に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。

元荒川の管理につきましては、埼玉県で行っております。ご提案いただきました元荒川の清掃について、河川管理者である埼玉県に確認したところ、以下のような回答がありました。

元荒川のごみに関しましては、県としても認識しています。県の活動としては、定期的にパトロールを行い、不法投棄された粗大ごみ等を撤去・処分しており、また、ビニールやポリ袋等のごみに関しては、草刈り業務の中でできる限り拾い集めることにしています。

梅林公園から上流に畑がありますが、これは民地を耕作しているものであるため、民地のごみについてはなかなか口を出せないのが実状です。

今後、特定の場所でごみ捨てがひどい場合には、注意喚起の看板を設置することを検討していきます。

本市としましては、今後も河川の適正な維持管理について埼玉県に働きかけてまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

(平成29年12月13日：治水課)

大綱4 人や環境にやさしく安全・安心な生活を育むまちづくり

○帰宅を促す定時放送について

自分の近所には、幼稚園児や小学校低学年の子どもが多いので、帰宅を促す放送を午後5時30分から午後5時にしたほうが良いと思う。

また、午後5時30分に放送している理由も教えてほしい。

ご提言をいただきました定時放送につきましては、4月から9月までは午後5時30分に、10月から3月までは午後4時30分に、市内197か所に設置している無線設備機器の正常な作動状況を確認することを主な目的として、放送しております。

放送時間につきましては、平成10年7月から、夏季・冬季等の日没時間を考慮して、現在の放送時間としております。子どもを持つご家庭では、この放送時間を一つの目安とし

て、子どもの帰宅を促すなど、長年に渡り、市民の皆様にも親しまれ、広く浸透しているものと認識しております。このようなことから、当面は、現在の放送時間を維持していきたいと考えております。

今後も、市民の皆様のご生活環境の変化や、いただいたご意見等を踏まえ、より良い定時放送となるよう調査・検討してまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

(平成29年6月13日：危機管理課)

大綱5 安心して働ける環境を育む持続的で躍動するまちづくり

○ガーヤちゃんの蔵屋敷について

ガーヤちゃんの蔵屋敷がオープンして間もない頃、越谷駅のホームにて、ガーヤちゃんの蔵屋敷には、進物用ののし紙がないとの話を聞いた。先日、ガーヤちゃんの蔵屋敷の職員に確認したところ、現在、進物用ののし紙はなく、今後も作る予定はないとのことであった。

ガーヤちゃんの蔵屋敷だけのプレミアム感満載ののし紙を作ってみてはどうか。

このたびは、市政に対する貴重なご意見をいただきありがとうございます。

観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」は、本年5月21日にオープンしました。

この施設については、江戸時代の蔵屋敷をモチーフとした外観および内装とし、越谷特別市民である“ガーヤちゃん”を蔵元として、日光街道「越ヶ谷宿」を再現した趣向にしています。また、観光パンフレットや特産品を単に並べてPRするのではなく、テーマ性やアトラクショナルな要素を持たせるとともに、広域観光をテーマとした巨大鉄道ジオラマを設置するなど、楽しみながら市の魅力に触れられる運営を目指し、(一社)越谷市観光協会が事業を展開しております。

ご提案いただきました「のし紙」の提供については、観光協会に伝え、早速対応するとの回答がございました。また、今後、ギフト需要に対応すべく、商品構成やサービスを充実していくことも検討しているとのことですので、ぜひ、ご活用ください。

(平成29年7月20日：観光課)

※ 現在、のし紙の提供をしています。

大綱6 いきいきとだれもが学べる心豊かなまちづくり

○宮本小学校体育館への洋式トイレ設置について

宮本小学校の体育館は地域の方々が利用する機会も多いが、和式トイレしかなく、不便である。また、宮本小学校は災害時の避難所にも指定されている。

地域の方々が利用することを考え、宮本小学校の体育館に洋式トイレを設置してほしい。

このたびは貴重なご提言をいただきありがとうございます。

さて、宮本小学校の体育館への洋式トイレ設置についてお答えいたします。

昨今、児童・生徒のほとんどの家庭において、また、公共施設等においても洋式トイレ

が標準となっている中、本市では、学校施設のトイレの洋式化を進めており、特に、小学校1年生が利用するトイレから、順次、整備を行っています。

ご提言の災害時における体育館の役割につきましては、十分に認識しているところですが、まずは、安全対策の重要性を考慮し、体育館の照明器具等の落下防止、いわゆる非構造部材の耐震化を最優先とし、工事を行っています。

引き続き、学校のトイレの洋式化を進めるとともに、宮本小学校の体育館のトイレにつきましても整備を進めたいと考えておりますが、洋式トイレへの改修は、和式トイレよりも広いスペースが必要となり、現状のスペースだと便器数が減少する可能性もございます。そのため、学校との調整も含めて、早期に洋式化できるよう、努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

(平成29年7月20日：学校管理課)

○越谷健康マラソン祭りについて

こしがや健康マラソンの抽選会について、時間を短縮するために賞品の質を上げ、個数を減らし、賞品を越谷ブランド等にしてみてはどうか。

また、マラソンの表彰を男女別にしてほしい。

こしがや健康マラソン祭につきましては、越谷市レクリエーション協会の主催事業のため、越谷市レクリエーション協会から聴取した内容を踏まえてお答えいたします。

越谷市レクリエーション協会は、市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及と生活文化を推進し、健康で明るい地域社会の建設に貢献することを目的としております。主な事業といたしまして、グラウンド・ゴルフ大会やスポーツ・レクリエーションフェスティバル、健康マラソン祭等、さまざまなイベントの開催を行っています。

このうち、健康マラソン祭は、だれもができるマラソンで健康・体力づくりを行うとともに、市民の皆様同士が親睦を図るふれあいの場として開催しており、毎年たくさんの方に参加いただいております。

健康マラソン祭の抽選会の賞品の質を上げ、本数を少なくしてはどうかのご提案につきまして、抽選会では一人でも多くの参加者が当選でき、喜んでいただけるよう配慮し、家庭でご使用いただける味噌や油、しょうゆ等の生活必需品を賞品としているとのことです。今後につきましても、このような考え方で賞品を用意してまいりたいとのことでした。

また、男女別の表彰につきましては、すべての参加者が分け隔てなく親睦を深められるよう配慮していることから、従来どおりに行ってまいりたいとのことでした。

今後とも、市民のスポーツ・レクリエーションの推進に全力で取り組んでまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

(平成29年6月20日：スポーツ振興課)

平成29年度 越谷市市政モニターから
寄せられた意見

発行：平成30年5月

越谷市市長公室広報広聴課

〒343-8501

埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

TEL 048-963-9117
